

あなたの活動で介護施設や保育所の皆さんの気持ちが温かくなります♪



活動登録者・登録施設・市民をつなぐお便り

ポイントリレー通信 第25号

令和5年12月発行

今年も残りわずかとなりました。元気に一年を締めくくることができるよう、体調管理にお気をつけください。

本号では、活動者の方へのインタビューや「受入登録施設交流会」開催レポートを掲載しています。ぜひご覧ください。

活動登録の状況(令和5年11月7日時点)



活動登録者	受入施設	
	介護施設	保育所
2,909人	650か所	169か所



冬の特大号！クオレ多機能ホーム まごころの家さんに取材させていただきました！



徒歩0分のご近所さん
クオレ多機能ホーム・まごころの家で活動中の大森清美さんは、同じ敷地内に立つサービス付き高齢者住宅「ゆいまーる福」で暮らしています。「雨の日でも気にせずに来られるからいいですよ。だから続けられているのかもしれないですね」と話します。

大森さんは、活動するなら近所で顔見知りが増える身近な場所がいいと思い、まごころの家の活動を希望されました。まごころの家は大森さんの申し出をきっかけに、介護予防ポイント事業の活動者受入れを始めたそうです。

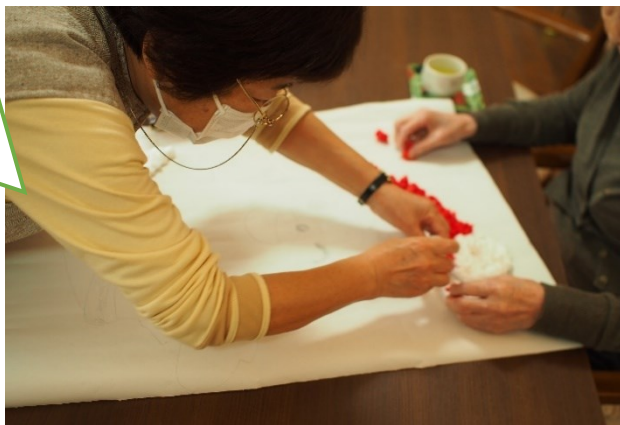


大森清美さん
(平成29年8月登録)

大森さんは現在、まごころの家で、週1回2時間程度、創作のお手伝いをしています。この日はサンタクロースのポスターづくり。ちぎって丸めた花紙を、下絵に沿って貼り付けて、利用者さんと息もぴったりに作品を仕上げていきます。

「大森さんが利用者さんに関わってくださると、利用者さんも時間を持て余す事がなく、いい時間が過ごせています」とスタッフの方も感謝しています。

「ここは白を貼ってね。こっちは赤。疲れたら休みましょうね」
声かけしながら進めます。



今回ご協力いただいたのは

クオレ多機能ホーム
まごころの家

西淀川区福町 2-4-8
06-6474-1952

日差しがたっぷり差し込むフロア内に明るい声が飛び交う、アットホームな雰囲気の中でお話をうかがいました。いるだけであたたかな気持ちになれる、そんな施設でした。

役に立つ・立たないよりも
コロナ禍は、感染状況をみながら、活動したり休んだりの3年間でした。

「いつも見ていた顔を見なくなったらやっぱりさみしいですね」と大森さん。「役に立つ・立たないより、まず出かけることが大切。出かけて人と会うだけで、十分良いことだと思えます」と笑顔で話されました。

お問合せ先 大阪市社会福祉協議会 福祉事業課 (電話 06-6765-5610)

受入施設より

介護施設

元気でいきいきと活動できる 居場所づくりを

大阪高齢者生活協同組合
ほっとホームわたの花

保育施設

地域とのかかわりに つながっています

社会福祉法人なみはや福祉会
三明保育園

介護施設より

「ほっとホームわたの花」さんは、通いと訪問と泊まりを主にされている「小規模多機能ホーム」です。



「いつまでも元気でずっと通ってきたいです」

施設職員 中田さん

Q. ポイント事業登録のきっかけは？

施設の利用者さんたちのお世話を「通い」「訪問」「泊まり」すべて同じ職員が担当する事業のため、レクリエーションなどお手伝いを、ポイント事業の活動者さんに助けていただけるのではと思ったことと、元気な高齢者の方の居場所づくりになればと登録をした記憶があります。

Q. 現在の受入れ状況は？

現在は2名の方が活動してくださっています。

おひとりは元々うちの職員の方で、「引退します！」と言い出されて、「これを引き留めるには？」と考えていた時に、ちょうどポイント事業を思い出し、「生きがいをもって活動できるので、ぜひ」と引き留めたところからはじまっています。

もうおひとりは現在もううちの職員でもあるのですが、仕事が終わってから、レクリエーションや、見守りなどをしていただいています。

Q. 活動を受入れて良かったことは？

活動者さんの生き生きとされている様子を見せてもらえるのも、職員としては本当にうれしいことです。利用者さんのご家族さんからも、「家では見たことのない楽しそうな顔や！」ととても喜んでもらっています。

Q. これから活動の受入れをされる施設へのメッセージ

活動者さんと一緒に頑張ろうという気持ちを持てるのが、いいところですね。活動者さんも、今日行くところがあるということも励みになるようで、ちよつとおめかしして、おうちの洋服よりもちよつといい服を着て行こうという場所があるのもうれしいと言っておられます。そういう元気の源になる場所づくりに一役かえているのもいいなあと思っています。

保育施設より

「三明保育園」さんは、0〜5歳児までの約90名の園児が通う、「認可保育園」です。



「いつも感謝の気持ちでいっぱいです」

職員 杉山さん

Q. 現在の受入れ状況について

現在は1名の方に、「門当番」という活動をお願いしています。

三明保育園は門前がすぐ公道になっていて、自転車を停めるスペースがありません。登園時は門を開け、自転車を安全に園内に誘導していただいたり、「おはよう」の声をかけていただく活動をお願いしています。

Q. 活動者受け入れのきっかけは？

活動希望のお電話をいただきました。活動受入れが未経験だったこともあり、少し悩んだのですが、活動者さんとお話をして、活動受入れにつながりました。活動者さんはお近くの方で、保育園の前を通る際に、「ここで活動したいな」と思っていてくれたみたいなんです。

Q. これから活動の受入れをされる施設へのメッセージ

地域とのかかわりにつながり、すぐくプラスになる事業だなと思っています。うちみたいに「このスタンブもそろそろ返さなアカンのかなあ」と思っている頃に、お電話がかかってくることも。「介護予防ポイント事業ってどんなやつたっけ？」と思った時は、一から十まで教えていただけました（笑）。ぜひちよつとしたお手伝いを探しておいてくださいね。

健康のため／

交流・つながり作り／

ポイント活動を始めるきっかけはたくさん！ご連絡をお待ちしております！

発行 大阪市社会福祉協議会 福祉事業課(大阪市介護予防ポイント事業 受託事業者)

所在地 大阪市天王寺区東高津町 12-10 HP <https://www.osaka-sishakyo.jp/lp/kypoint/>

TEL 06-6765-5610 FAX 06-6765-3512



大阪市社協 介護予防ポイント